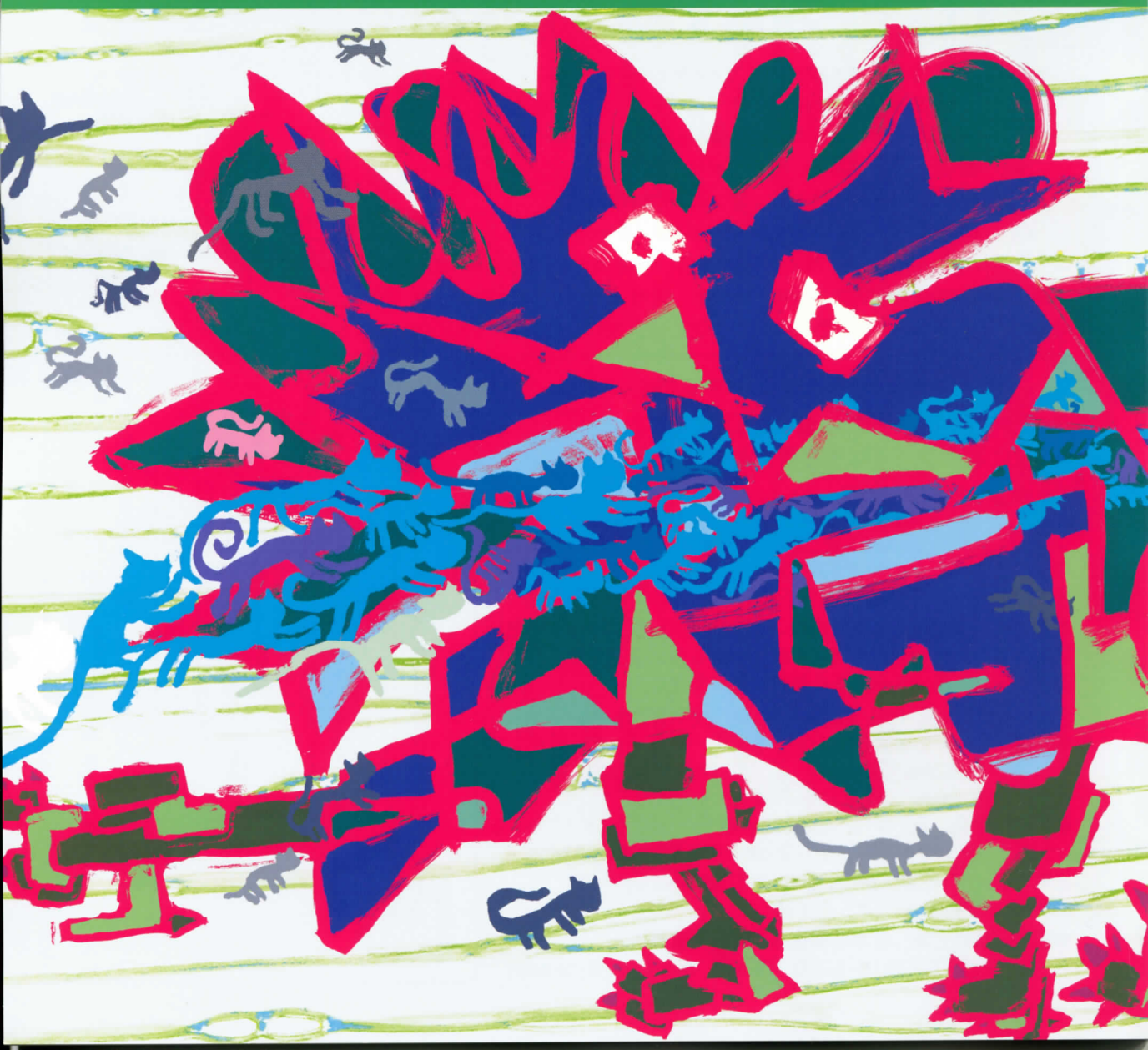
昭和50年3月26日第三郵便物認可　平成26年6月25日発行（奇数月25日発行）　通巻第450号（増刊号）　ISSN 0385-0641

土と健康

2014年 No.450
6月号
日本有機農業研究会

■江戸東京の伝統野菜を広め・つなげる　大竹道茂

■報告　第42回 日本有機農業研究会大会総会（2）
分科会報告・総会報告など



「提携」フォーラム

6月29日（日）10:30〜16:30

会場　國學院大学常磐松ホール

東京都渋谷区東4-10-28／渋谷駅東口から、徒歩15分。都営バス54番のりば「学03　日赤医療センター行」で「国学院大学前」(約10分)下車。渋谷駅JR埼京線の新南口から徒歩約10分。

参加費　1000円（学生500円）

世界に広がる「テイケイ」「ＣＳＡ」(地域支援型農業)。有機農家も消費者も Win Win のこのしくみを放っておく手はありません。「提携」は、地域の有機農家や農場と消費者が一緒に有機農業を進めるしくみです。
午前中は、アメリカのＣＳＡ「エンジェリック・ファーム」の英雄・ジョン・ピーターソンのものがたり(長編ドキュメンタリー)です。
アメリカ中西部イリノイ州で長年農家を続けてきた典型的な家族農家がたどったＣＳＡへの道のり。「怒りの葡萄」「Back to the Land(田園に帰れ)」、ピッピーを生んだ土と共に生きるアメリカ社会の一端をみることができます。
午後は、「提携」について、PGS、「提携」推奨などを含め、これからの「提携」や地域農業について。日本の「提携」も多様化するとともに、新たな担い手も求められています。一緒に話し合いましょう。

■第一部■　映画上映　10：30〜12：30

長編ドキュメンタリー　**「農民ジョンの真実」**
The Real Dirt on Farmer John　2005年 84分
※「世界が食べられなく日」の監督：タガート・シーゲル
制作：コレクティブ・アイの作品です。

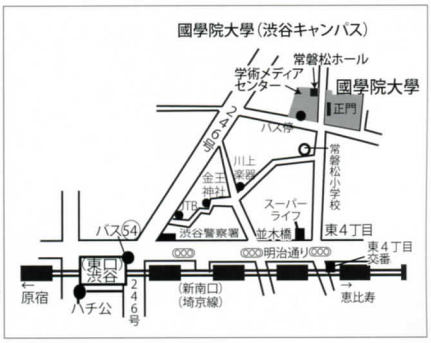
解説　**久保田裕子**　國學院大学経済学部教授

■第二部■　パネル・ディスカッション　13：30〜16：30

「提携」推奨へ向けて

パネラー　**並木芳雄**　埼玉県和光市／日本有機農業研究会理事
八代弘樹　千葉県南房総市／三芳村生産グループ　生産者
飛田みえ子　兵庫県／食品公害を追放し安全な食べ物を求める会
槌田　劭　京都府／使い捨て時代を考える会
桝潟俊子　淑徳大学コミュニティ政策学部教授
波多野豪　三重大学生物資源学部教授　ほか

コーディネーター　**本城 昇**　埼玉大学名誉教授、日本有機農業研究会理事　敬称略



主催　日本有機農業研究会　提携と基準部　**協力**　渋谷・環境と文化の会

申込み　日本有機農業研究会事務局　TEL 03-3818-3078　FAX 03-3818-3417　メール　info@joaa.net

---

日本有機農業研究会青年部主催

第15回 農コン

来たれ! 有機農業ができる相方を本気で求めている人

田畑でともに汗を流し、喜びをわかちあい、お互い感謝しあえるパートナー探しをしませんか？ 今回は趣向を変えて、下北沢にある素敵なオーガニックレストラン「ふくしまオルガン堂　下北沢」で開催します。一品持ちよりと異なり、純粋に食べ物と会話を楽しむことができるかと思います。
有機野菜を使った美味しい料理を囲んで、楽しいひとときをすごしましょう。

参加資格　**未婚かつ本気で出会いを求める50代(いわゆる青年)までの方**で、有機農業に興味・関心がある方に限ります。かつ、交際・結婚に至ったら**必ず主催者に報告**できる人。

日時　**7月5日（土）** 18時〜20時（受付17時30分〜）
集合場所　ふくしまオルガン堂　下北沢
世田谷区代沢4-44-2　TEL 03-3411-7205
当日連絡先　清水 090-2329-2441
参加費　会員：3000円　一般：3500円
ウェルカムドリンク1杯付。それ以降の飲み物は各自お支払いとなります。
定員　20名（定員に達し次第締め切ります）
締切り　6月30日（月）　17時
申込み・問合せ先　**日本有機農業研究会　事務局**
TEL 03-3818-3078　E-mail　seinenbu@joaa.net

■本会の動き

5月8日（木） 於　文京区湯島第2会館
第44期第2回理事会
1．大会・総会後の本年度の活動について／2．他団体との連携について／3．次期大会について／4．その他

5月23日（金） 於　文京区湯島第2会館
みんなの有機農業公開講座　講師　舘野廣幸さん
宮沢賢治の有機世界を求めて
第66回「若い木霊」をめぐって

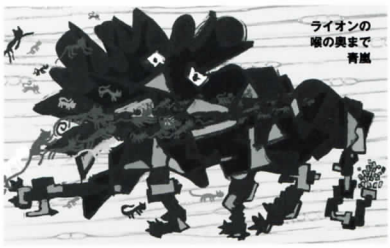
5月24日（土）〜25日（日） 於　福島県二本松市
福島・東北有機農業支援委員会「猫の手」の活動
24日の午前は、大内信一さんの田んぼの田植え、午後は、畑にヒマワリの種を播きました。25日は、安斉力さんの畑にキュウリの定植、渡辺文夫さんの畑にナスの支柱立てをしました。
（上杉幸康）

表紙のことば

ねじめ正一さんの俳句と僕の絵で創った絵本、『猫の恋』は発表され、けっこう方々でビックリされている。その本には使わなかった俳句と絵がいっぱいあるので、今回もそれを表紙の絵として使いますね。ねじめさんの句は、

ライオンの　喉の奥まで　青嵐

田島征三



今月の表紙
田島征三

2014年 夏の有機農業見学会 in 茨城
8月23日（土）～24日（日）

今年の夏の見学会は茨城県北部です。常陸太田市で里山循環型の農業をされ、農村に若者をよびこもうと研修生を受け入れている布施大樹・美木さん。那珂市でめずらしい海外の固定種を無肥料で、いろいろ作られている和知健一・則子さんをおたずねします。その土地ならではの暮らしぶり、農業を通してめざすもの、農業へのこだわりなど、実際の田畑を見せていただきながらお話しをお聞きします。また、原発事故の影響にどう向き合われてきたか、現在はどうされているか。それぞれの対応もお聞きしたいと思います。

見学先　23日（土）　**和知健一**さん　ポコアポコ農園
24日（日）　**布施大樹**さん　木の里農園

※参加費等詳細は、本誌次号とホームページでご案内します。

有機農業を農場で学ぼう！ 有機農学校のご案内

魚住有機農学校　有機農業アドバイザー　**魚住道郎**
茨城県石岡市嘉良寿理 348　魚住農園　TEL&FAX 0299-43-6826
JR常磐線「石岡駅」「はとり駅」タクシー約 15 分　※駐車場あり
※最寄駅からの送迎については相談　※季節の野菜等の試食用お土産あり。

第3回（全3回の最終回）　11月16日（日）
冬野菜（キャベツ、ブロッコリーなど）の圃場観察・収穫作業、玉ネギの植付け作業、秋の有機農場の観察、冬に向けての農作業の準備など。
■受講料　今回のみ参加者　6000 円

舘野かえる農場　有機農業アドバイザー　**舘野廣幸**　全8回
栃木県下都賀郡野木町佐川野 1489-1　TEL 090-4222-5441
最寄り駅　JR宇都宮線「野木駅」　※自家用車　駐車場あり

第4回　7月20日（日）　畦草刈り、生物調査、大豆播種
第5回　9月21日（日）　雑穀収穫
第6回　10月19日（日）　稲刈り
第7回　11月16日（日）　大豆収穫、麦播種
第8回　12月21日（日）　麦踏み、落ち葉集め、堆肥作り、収穫祭（餅つき等）

申込は開催日の1週間前までに！

■受講料　各回　6000 円
※参加回数に応じて、収穫した有機米等のお土産あり。

申込み　日本有機農業研究会事務局　TEL 03-3818-3078
FAX 03-3818-3417　メール　info@joaa.net

※持物等など詳細については事務局にお問い合わせください。

♪　入会のおすすめ　♪

日本有機農業研究会は、1971 年に有機農業の実践、普及、交流を目的に生産者と消費者、研究者が手を携えて結成。
会費とボランティアによって運営し、機関誌『土と健康』にも広告を一切掲載せず、独立性を保持しているNPO法人です。有機農業に関心をお持ちの方で結成趣意書に賛同する方なら、どなたでも入会できます。

【年会費】

☆普通会員（個人）　6000 円
☆運営会員（個人）　10000 円
☆団体会員（団体）1口　10000 円
※任意団体・ＮＰＯ法人は１口以上
※その他法人は２口以上
☆購読会員　6000 円
※会誌「土と健康」を購読するために入会した個人または団体

入会をご希望の方は、お名前、住所、電話、FAX、メールアドレスなどを明記の上、下記の郵便振替口座へ、会費をお振込みください。（年度単位）

NPO法人 日本有機農業研究会
【郵便振替口座】
00180－0－165363

【事務局】
〒113-0033
東京都文京区本郷3-17-12-501
TEL 03-3818-3078／ FAX 03-3818-3417
e-mail　info@joaa.net
HP　http://www.joaa.net

土と健康 6月号
第四二巻第四号（通巻第四五〇号）
平成26年6月25日発行
昭和50年3月26日第三種郵便物認可
〒一一三-〇〇三三 東京都文京区本郷三-一七-一二-五〇一号
☎〇三(三八一八)三〇七八 FAX〇三(三八一八)三四一七
郵便振替 No.00180-0-165363
頒価七〇〇円

日本有機農業研究会　2014年　夏のシンポジウム

森里海の有機的交流と自給が日本農業の未来をひらく

9月7日(日)　10：00～16：50

会場　国立オリンピック記念青少年総合センター　センター棟 研修室 401
〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町3-1
小田急線「参宮橋駅」徒歩7分／地下鉄千代田線「代々木公園駅」徒歩10分

参加費　2500円

第1部　報告と討論　10：00～12：00

大震災から3年、放射能汚染をのり超え、脱原発の運動をどうつくるか

報告1　二本松有機農研と福島有機農学校の開校
大内信一さん（福島県二本松有機農業研究会代表）

報告2　“猫の手”に参加し、フクシマを考える
吉川直子さん（東京都多摩市）

報告3　森里海の放射能汚染下での有機農業の実践
魚住道郎さん（茨城県石岡市魚住農園）

報告4　全国原発訴訟団との連携と協同組合の活動、森里海の共同検査室報告
大石光伸さん（茨城県常総生協副理事長、東海第二原発訴訟原告団長）

進行　若島礼子さん（日本綜合医学会食養指導士）

～昼　食～　12：00～13：00

第2部　講演　13：00～14：00

TPPをのり超える日本の農業の方向

講師　鈴木宣弘さん　東京大学大学院教授

進行　関塚 学さん（栃木県佐野市関塚農園）

鈴木宣弘さん

～休　憩～　14：00～14：15

第3部　報告と討論　14：15～16：50

森里海の有機的交流と自給が日本農業の未来をひらく

報告1　消費者たちがつくった“有機の店”は、今も元気で消費者に発信中
島 典子さん（長崎県長崎市土と文化の会代表）

報告2　小さな循環で持続可能な農と社会
松沢政満さん（愛知県新城市福津農園）

報告3　地域に根づく生協型の有機農業運動
長尾正人さん（愛媛県今治市長尾農園、愛媛有機農産生協）

報告4　原発事故をのり超え、再生エネルギーの自給を地域で！
近藤 恵さん（福島県二本松市二本松有機農業研究会）

報告5　「悪人有機（他力本願が有機的浄土をつくる）」
舘野廣幸さん（栃木県野木町舘野農園）

報告6　有機農園の現場で学ぶ“有機農学校”— 新しいかたちの有機農業運動
林 重孝さん（千葉県佐倉市林農園）

進行　並木芳雄さん（埼玉県和光市並木農園）

申込み・問合先　日本有機農業研究会事務局　★当日参加もできます
電話 03-3818-3078　Fax：03-3818-3417　E-mail　info@joaa.net
〒113-0033　東京都文京区本郷 3-17-12　プレシアス本郷 501

日本有機農業研究会・発行　http://www.joaa.net